

(西暦) 2021年5月14日

当院に入院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究についてのお知らせ

はじめに

血液内科病棟では悪性リンパ腫に対し抗癌剤治療を行っています。化学療法剤のなかには、植物アルカロイド系薬剤であるビンクリスチンなどが含まれ、重症の便秘、麻痺性イレウス等の副作用を起こす可能性があり、排便コントロールは重要です。

当病棟では、下剤内服によって逆に下痢になることもあり、排便コントロールに悩む患者さんが多く、医師指示のもと下剤の種類・最大内服量は決められていますが下剤の投与開始のタイミングや種類、使用量は統一されておらず、看護師の経験年数や看護師個人の判断で決めているのが現状です。今回、そのような看護師の経験や個人判断に左右される事なく、下剤投与開始のタイミングや種類、量を標準化した「下剤投与標準フローチャート」を作成したいと考えました。

【対象】

西暦2020年6月1日より2021年6月31日までの間に、9CD病棟に入院し悪性リンパ腫でビンクリスチン投与を受けた方

【試料・診療情報等の項目】

試料：診療情報

診療情報等：年齢、性別、既往歴、排便回数、化学療法コース数、化学療法経過日数毎の排便回数・ブリストルスケール、下剤内服開始日、下剤内服量、中止状況、腹部症状の有無、補液量など

【試料/情報の他の研究機関への提供および提供方法】

本研究で使用される診療情報等は他機関への提供は行いません。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、9CD病棟 志水 直子 宮原 美和 までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

ビンクリスチン投与患者の排便コントロールの実態調査
～排便コントロール向上にむけた「下剤投与標準フローチャート」の作成～

【方法を記載】

- ①電子カルテより対象患者さんの排便コントロール状況を情報収集・集計する。
- ②①で得た情報より化学療法後何日で便秘となっているか、下剤内服の量・日数によるブリストルスケールの変化の平均値を抽出、既往歴によって便秘の出現率の違い等を分析、フローチャートに必要な項目を洗い出し「下剤投与標準フローチャート」を作成する。

個人情報の管理について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報は、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第3者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

研究期間

承認日～ 2022年3月31日（予定）

看護上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受け取ることができる利益はありません。しかし、本研究により下剤投与標準フローチャートを作成する事により、新たな知見が得られることで看護への貢献が為され、社会への貢献が達成されると考えられます。

研究実施機関

国家公務員共済組合連合会 浜の町病院 9CD 病棟

【当院での研究責任者】 所属 9CD 職名 看護部 氏名 志水 直子

【利用する者の範囲】

所属 9CD 職名 看護師 氏名 宮原 美和

所属 9CD 職名 看護師 氏名 伴 美輝

所属 職名 氏名

お問い合わせ先

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

浜の町病院 9CD 病棟 092-721-9975

以上